



01 歴史文化学科活動報告

竹田城遠足@基礎演習 I

2016年9月12日、歴史文化学科の1回生は基礎演習の一環として、朝来市にある竹田城跡をバスで訪れました。私は小学生の時に竹田城跡を訪れましたが、あの頃には感じる事ができなかった、城下町の歴史を積み重ねた落ち着きある雰囲気を楽しむことができました。自然を満喫できるハイキングの楽しさを味わったり、ガイドの説明を聞いて古の武士たちの生き様に想いを馳せたり、城跡の頂上からの美しい景色に感動したりと、現地でないと体感できない多くの貴重な経験を得ました。是非また訪れたいと思います。企画してくださった先生方、同行していただいた先輩方、ありがとうございました。(1回生・水埜桃子)



小磯記念美術館での講義@博物館資料論



「博物館資料論」は、学芸員資格を取得するために必要な授業のひとつで、博物館の資料の管理などについて学びます。講義は、神戸市立博物館や小磯記念美術館の学芸員3名が担当しており、とても実践的な内容を学べます。

2016年6月11日、授業の一環として六甲アイランドにある神戸市立小磯記念美術館に行きました。担当の廣田先生から、「資料がどのように展示されているのか」、「どのような点に注意すべきか」、「資料はどのように保管されているのか」など、座学では分からない様々なことを教えて頂きました。展示作品の解説のみならず、作品にあたる照明の明るさ、部屋全体の空調など、細かく教えていただきました。

また、バックヤードスペースも見学させて頂き、博物館の裏側を知るだけでなく、その管理の徹底ぶりを知ることができ、私たちは驚きの連続でした。廣田先生への質問の嵐が巻き起こるなど、充実した一日となりました。(2回生・田中景子)

歴らぼ通信の刊行は、これで7号となりました。歴らぼ通信では、歴史文化学科における様々な活動を紹介しています。通信に記載される記事の多くは、ホームページ「歴らぼのWEBサイト」(<http://www.konan-u.ac.jp/hp/rekibun>)でも紹介していますので、そちらもご覧下さい。

02 歴らぼ活動紹介

「歴らぼ」(歴史文化らぼ)は、歴史文化学科で取り組む活動です。その目的は学生が主体となって、教員とともに授業とは別の枠組のなかで、歴史と文化に関わることを実践的に学ぶことです。2014年度から正式に始まったこの取り組みは、今年で3年目となりました。自主的な活動のため、活動が途切れてしまうケースもありますが、入れ替わるように多くの班が結成され、活動を続けています。ここでは、そうした班のいくつかを紹介したいと思います。(鳴海邦匡)

歴らぼ地図班

歴らぼ地図班は、様々な地図を対象に実践的に学ぶグループです。今年、『明治三十七八年日露戦史』付図の整理と「大阪こちずぶらり」(アプリ)の活用をテーマにしています。その活動の一環として、2016年10月29日、附図500点ほどの写真撮影を実施しました。今はそのデータの整理を進めるとともに、地図を用いた展示や冊子の作成を目指しています。私達の活動は、ただ調べるだけではなく、調べたことを形にして発表することを目指し、そこから得られる感動や達成感を大切にしています。(3回生・椿野佑太)



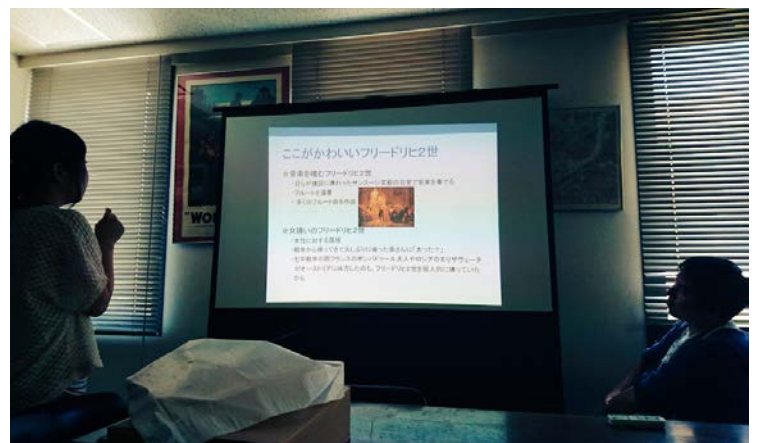
歴らぼ遺跡巡り班



2016年7月3日、歴らぼ遺跡巡り班は、京都北区の紫野地区にある今宮神社と大徳寺高桐院に行きました。今宮神社は「玉の輿」でも有名で、境内には「年収1500万円以上の人と結婚できますように」などと書かれた絵馬がありました。神社の参道には2軒の餅屋があり、1000年以上の歴史がある一和であぶり餅を食べました。その後、高桐院へ行き緑に囲まれた参道や前庭で心が洗われました。細川忠興とガラシャのお墓や大徳寺には秀吉が建てた信長公の菩提寺など様々な歴史的建物があり、歴史を学ぶうえで重要な場所と認識しました。歴らぼ遺跡巡り班は不定期で活動していますが、興味があれば参加して下さい。(3回・井上翔太)

歴らぼ欧州班

欧州研究班はその名の通り、欧州国家について分野を問わず自由に研究しています。歴史、文化、政治、言語、人物など様々な視点から欧州国家を見ていくことで新たな発見をし、理解を深めていくことが目的です。各々の興味のある国家を調査し、今までにイギリス、スペイン、プロイセンについての研究発表がされています。PowerPointを使った研究発表のみならず、映画鑑賞、欧州料理を実際に食べに行くこと、ディベートといった企画も行って行く予定です。ゆるーく和気あいあいとした雰囲気でお菓子を食べながら活動しているので、興味があるという方は是非一度参加してみてください！(1回生・濱田萌香)



歴らぼ古文書班

現在、歴らぼ古文書班は、学科で管理されている古文書の読解を進めています。古文書といえば文字が崩れていて読めないなど、取っつきにくい印象を持っている方も多いのではないのでしょうか？ ですが安心してください！ 私達の班では全員で協力しながらひとつの古文書を読んでいます。さらに東谷先生が読解のコツを教えてくださいますので、楽しく勉強することができます。ですから古文書を読むことに興味がある方は火曜日の5限にぜひ参加してみてください。(3回生・平原侑樹)



歴らぼ中世班



歴らぼ中世班は、2016年9月25日、安土城へ行きました。安土城は織田信長が築いた城として有名です。焼失したため、建物はありませんでしたが、大手門や石垣から当時の壮大さが窺い知れました。普段は、分国法などの史料を読んでいます。興味を持った方は気軽に参加してみてください。(1回生・金澤舞奈)

歴らぼ歴史の中の美的感覚研究班の紹介

歴史の中の美的感覚研究班は、2016年10月11日に新しくできました。この班は、歴史の中の美的感覚を人物や衣服、化粧品などの様々な視点から追求します。それらを調べていく上で、フィールドワークを行ったり、文献調査を行ったりします。活動は、第1・3火曜日、歴史文化ラボラトリーで行います。興味のある方はご連絡ください。(1回生・藤原音々)



歴らぼ編集部



歴らぼ編集部の主な活動は、この「歴らぼ通信」の作成と、「歴かふえ」の運営です。先代の編集長から引継ぎ、今は4人のメンバーで運営を行っています。「歴らぼ通信」では、歴史文化学科の授業やゼミの紹介、歴らぼの様々な班の活動報告などをしています。これからも皆さんに楽しんでもらえるような情報を発信していきたいと考えています。通信に載せたいことがあれば是非編集部までご連絡ください。(2回生・水田佳菜)

歴かふえ 01 : 手代木功基先生

「歴かふえ」は編集部が企画するイベントで、本校に非常勤などで来られている先生をお招きし、普段の講義ではうかがえない話をお聞きしてみようという企画です。ただ話を聞くだけでは味気ないので、お茶やお菓子を楽しみながら話をうかがうという企画としました。2016年11月11日、手代木先生(自然地理学担当、総合地球環境学研究所)をお招きし、アフリカでの調査の様子をお話頂きました。この企画、実は去年に実施予定でしたが台風で中止となり、1年越しに開催となりました。無事に開催できてほっとしています。(3回生・松浦寛)

写真:手代木先生によるお話の様子



03 ゼミ活動報告

高田ゼミ合宿 in 広島

高田ゼミは、2016年8月の中旬の3日間、広島巡検に行きました。初日は広島市内の観光で平和記念館に行き、戦争、とくに原爆の事実を目の当たりにしました。2日目は宮島で厳島神社の美しさと弥山頂上からの瀬戸内海を一望し、名物あなごめしを噛み締めることができました。また、最終日に行った大和ミュージアムでは、日本の造船技術の素晴らしさを実感することができました。広島が巡検地であったことから、全体を通して戦争に関連する訪問地が多くなりました。でも、避けて通ることのできないテーマであったことから、学ぶことの多い、貴重な経験となりました。(3回生・合田走)



佐藤・鳴海ゼミ合同合宿@白川台キャンパス



2016年6月28日、新しくできた甲南大学白川台キャンパスにて佐藤ゼミと鳴海ゼミで合同合宿を行いました。合宿では、みんなでバスケットボールやドッチボールをしました。佐藤先生と鳴海先生がともにシュートを決めている姿を見たときは拍手喝采でした。夕食後、卒論や授業など歴史について語り合い刺激を受けあっている学生の姿も見られました。たった1泊2日の合宿でしたが、ゼミ内はもちろんのこと他のゼミ生との交流も図ることができ、学年を越えて親睦を図るとても良い機会だったと思います。(3回生・森田葉月)

編集:水田佳菜(2回生・代表)、八木はるか(2回生)、村尾聖華(2回生)、立川亮太(2回生)、鳴海邦匡

発行:甲南大学文学部歴史文化学科

発行日:2016年12月18日 連絡先:〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1、078-435-2874 (学科事務)